

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容（別紙参照）	
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解	10時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1)多様なサービスの理解		4	4	/	(1)	
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	6	6			(2)	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	12時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1)人権と尊厳を支える介護		6	6	(1)		
	(2)自立に向けた介護	6	6		(2)		
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本	8時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携		3	3	(1)		
	(2)介護職の職業倫理		1	1	(2)		
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		2	2	(3)		
	(4)介護職の安全	2	2		(4)		
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	10時間	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
	(1)介護保険制度		6	6	(1)		
	(2)障害者総合支援制度及びその他の制度		1	1	(2)		
	(3)医療との連携とリハビリテーション	3	3		(3)		

第1-2号様式	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6時間
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解	6時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障がいの理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	

5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション		4	4		(1)
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		2	2		(2)
6 老化の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常		3	3		(1)
(2) 高齢者と健康		3	3		(2)
7 認知症の理解	9時間	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況		2	2		(1)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		2	2		(2)
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		3	3		(3)
(4) 家族への支援		2	2		(4)
8 障がいの理解	5時間	時間数	うち通学	うち通信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解		1.5	1.5		(1)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		2	2		(2)
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		1.5	1.5		(3)

第1-2号様式	
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
ウ 生活支援技術演習	10~12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	

9 ところとからだのしくみと生活支援技術	76時間	うち通学	うち通信
ア 基本知識の学習	11時間		
(1) 介護の基本的な考え方	5	5	
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	3	3	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3	3	
イ 生活支援技術の講義・演習	54時間		
(4) 生活と家事	6	6	
(5) 快適な居住環境整備と介護	6	6	
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(9) 入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6	6	
ウ 生活支援技術演習	12時間		
(13) 介護過程の基礎的理解	6	6	
(14) 総合生活支援技術演習	6	6	

9 ところとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習
(1)
(2)
(3)
イ 生活支援技術の講義・演習
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)
(10)
(11)
(12)
ウ 生活支援技術演習
(13)
(14)

第1-2号様式		4時間
10 振り返り		
(1) 振り返り		
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		
追加カリキュラム		
計		(130 時間)

10 振り返り		5時間	時間数	うち通 学	うち通 信	10 振り返り
(1) 振り返り		3	3	/		(1)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		2	2	/		(2)
計		(148時間)				

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。